

令和8年度 山口大学大学院人間社会科学研究科(修士課程)共創科学専攻

入学者選抜学力検査問題 出題意図

共創科学専攻では、総合的思考や分析的思考を通じて文化的価値観の創出や社会システムの設計ができる人材の教育を目指していることから、社会的課題とその解決に関わるテーマを選定した。「社会的弱者が生まれる背景」をテーマに挙げたのは、一般的な課題であることから受験者の解答が限定されにくいこと、また複数の学問領域に関わる課題であり、本専攻の各研究分野との親和性もあると考えたためである。

入試問題では、(1) 社会的弱者が生まれる背景について分析するパートと(2) 対策を検討するパートを設けた。以下、それぞれの出題意図を記す。

(1) 社会的弱者が生まれる背景について、社会構造/文化的概念/政策/教育のうち一つ以上の観点から具体的な例を挙げ、自分の研究分野の視点から説明しなさい。

社会的弱者が生まれる背景は多岐にわたるが、社会構造/文化的概念/政策/教育といった大枠を示すことで、課題を整理しながら解答することを想定している。個別具体の事例の提示にとどまらず、学問的立場からの見解や分析を含めた解答が期待できると考えた。

さらに、自分の研究分野の視点から説明を求めることで、一般論を脱して具体的な議論が展開できるのではないかと考える。

(2) 社会的弱者が生まれる状況を是正するための対策について、今後の自分の研究と関連させて展望を述べよ。

解決方法についてもまた、多分野から切り込むことが可能であり、大学院での研究と関連させることで具体的な説明が期待できる。

評価の際は、(1) で上げた課題の分析と(2) の方策への解答を付き合わせることで、課題分析と問題解決の方策がかみ合っているかを確認できる。特に、(1) 課題分析が不十分であれば(2) の対策が具体化しにくいことが予想される。

以上